

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 123

事業名	南淡コミバス・らん・らんバスすいせん号バス運行委託事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市長公室			款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5002			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	まちづくり推進費・6目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち(子育て)			
	施策目標	すべての人が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业		業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 沼島・灘・阿万・北阿万・潮美台・賀集地区の住民等		対象人数(人) 12,701		
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 地域住民の生活交通である路線バス運行を確保することにより、市民に安全で安定した交通手段を提供する。				
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 淡路交通(株)が路線廃止したことに伴い、平成18年10月1日より、「らん・らんバス」(すいせん号)として運行している。利用者は69人/日。				
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 淡路交通(株)から撤退の申入れを受け、平成14年8月から、旧南淡町が灘・阿万線として欠損額(18,000千円/年)を補填して運行していたが、平成18年10月より市が業者委託により運行している。 特に灘、沼島地域の学生や高齢者の方にとって、国衛・福良等へ移動する唯一の公共交通機関である。				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (みなと観光バス(株))			
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から					

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	1日の乗車人数	指標単位 人			
	指標説明 (指標算出方法等)	乗車人数により、当該事業の利用効率などが計れる。				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	67	70	73	83	
	実績値	67	66	71		
	達成度 (%)	100.0	93.9	97.0	-	
目標値設定の考え方	高齢化の進行と、利便性を高めることにより利用者増が見込まれる。					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	1日の乗車人数	指標単位 人			
	指標説明 (指標算出方法等)	乗車人数により、当該事業の利用効率などが計れる。				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	67	70	73	83	
	実績値	67	66	71		
	達成度 (%)	100.0	93.9	97.0	-	
目標値設定の考え方	高齢化の進行と、利便性を高めることにより利用者増が見込まれる。					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	11,467	30,256	13,218	23,200	
	補助金・委託料	11,467	30,256	13,218	23,200	
	財源 (千円)					
	国					
	県	1,417	2,079	847	1,391	
	起債					
	その他		2,179	4,430	6,549	
	一般財源[A]	10,050	25,998	7,941	15,260	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	154	150	151	151	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)	10.0	10.0	10.0	10.0	
	事業量2(事業に要した人数)	0.5	0.5	0.5	0.5	
	年間経費([A]+[B])	10,204	26,148	8,092	15,411	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.8	2.1	0.6	1.2		
受益者人数(69)1人当り経費(千円)	173.4	378.9	117.3	223.3		
経費に関する補足説明	平成18年度は、年度途中の事業変更により、南淡コミバス事業として、淡路交通㈱への運行補助金も含まれている。					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	活動結果指標目標達成度	%	100.0	93.9	97.0	-	
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 目標値に近い実績があり、地域住民には無くてはならない公共交通である。						自己評価 (5点評価)
							3
有効性		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	成果指標目標達成度	%	100.0	93.9	97.0	-	
	成果向上率	%	-	1.9	7.8	-	
(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 成果があり公共性が高い。						自己評価 (5点評価)	
							3
効率性		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	活動実績1単位当り経費	千円	152.3	398.0	114.3	-	
	効率性増減率	%	-	161.3	71.3	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 平成18年10月1日からの運行形態の見直しにより、一時的には経費増となったが、今年度は適正なコストになる見込である。しかしながら、今後の運行経費の削減は見込めない。						自己評価 (5点評価)	
							4
必要性	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低						
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地域住民にとっては、唯一の公共交通機関であり、福祉性も強く、その必要性は高い。						自己評価 (5点評価)
							5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 沼島・灘・阿万地区等の方々にとっては唯一の公共交通機関であり、福良・国衛へのアクセスとしてその必要は高い。						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	沼島・灘・阿万地区等の方々にとっては唯一の公共交通機関であり、福良・国衛へのアクセスとしてその必要は高いため、経済性、利便性の向上のための見直しを図りながらも、路線を維持する必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)	現在運行しているコミバス3路線のルート・時刻表の見直しを行い、乗り継ぎ等により、その利便性と効率性を高める。	同左
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	利便性を高めることにより乗車率の向上を図る。	同左
中止・統廃合の影響	コスト面	コスト面
	運賃収入の増により、市の支出負担が減少する。	同左
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 交通弱者である高齢者の通院、買物や公共施設等へのアクセスが大変困難となり、影響は大である。	